

各県だより

このコーナーでは、各都府県方面組合から寄せられた、全国の組合、ホール等による各種の社会貢献・寄付活動を毎月紹介しています。

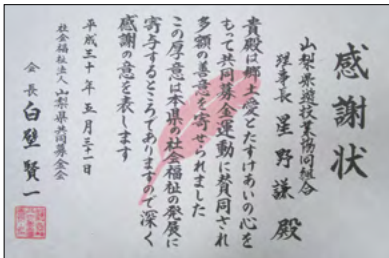
各都府県方面組合による
社会貢献活動

各都府県方面組合の通常
総会時における各種社会
貢献活動

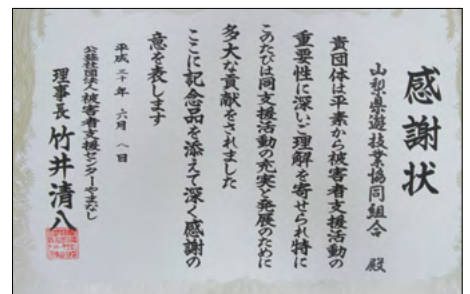
山梨

通常総会の席上、県内5団
体に寄付

山梨県
遊技業協
同組合(星
野謙理事
長)は、
2018
年5月31
日(木)に
開催した
同県遊協
2018
年通常総
会の席上、
山梨県共
同募金会、
山梨県防
犯協会、山
梨県暴力
追放運動



推進セ
ンター、
被害者
支援セ
ンターや
まなし、
山梨県
更生保
護協会
の県内
5団体に
対し、寄
付を行った。
寄付に
対し、山
梨県共
同募金
会、被害
者支援
センター
やまなし
から感謝
状が授与
された。



滋賀

通常総会終了後、福祉車両
等贈呈式を開催

滋賀県
遊技業
協同組
合(古川
照雄理事
長)は、
2018
年5月30
日(水)に
開催した



同県遊
協第56
期通常
総会終
了後、滋
賀県民
間福祉
振興財
団と共
同で福
祉車両
及び淨
財の寄
贈式を
行い、
県内の
福祉施
設3カ
所に福
祉車両
を寄贈
すると
ともに
、滋賀
県暴力
追放推
進セン
ターを
はじめ
県内5
団体に
淨財を
寄付した。
併せて、
第10回
滋賀県
ファン
感謝デー
開催に
伴う社
会貢献
活動と
して、
関西盲
導犬協
会を
はじめ
7団体
に寄付
した。



埼玉

顕彰／表彰／感謝状授与
県特定非営利活動促進基
金協力証を受領

埼玉県遊技業協同組合(山

田茂則理事長)は、2018年
4月6日(金)、県民の社会貢
献活動の促進に対する深い理
解と、その発展のため多大なる
貢献をしたとして、埼玉県特定
非営利活動促進基金から協力
証が授与された。



京都

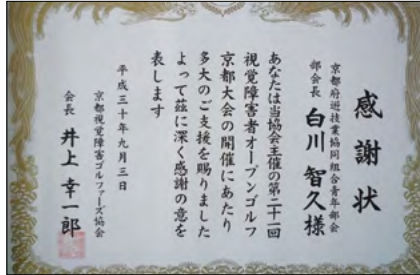
寄付／寄贈
青年部会員が視覚障害者
オープンゴルフ大会を支援

京都府遊技業協同組合青
年部会(白川智久部会長)は、
2018年9月3日(月)に
開催された「第21回視覚障
害者オープンゴルフ京都大
会」(主催：京都視覚障害者
ゴルフアソシエーション)の大会運
営費を寄付するとともに、大会

当日は部会員が「メーカー」(選手の打数を記録する係)としてボランティアで参加した。



京遊協青年部会は、第1回大会から大会運営に協力しており、主催者の京都視覚障害ゴルフアーツ協会から感謝状が授与された。



愛媛

愛媛県遊技業協同組合(川

井義廣理事長)は、2018

年6月20日(水)、愛媛県防犯協会連合会及び愛媛県交通

安全協会に対し、高齢者被害の特殊詐欺や交通事故を防止するため

の啓発活動に活用する暑中見舞い葉書「かもめーる」計1万枚を寄贈した。

各地区の防犯協会や交通安全協会は、特殊詐欺の被害や交通事故防止を呼びかける内容を記載した「かもめーる」を高齢者が多く居住する地区等を対象に送付した。



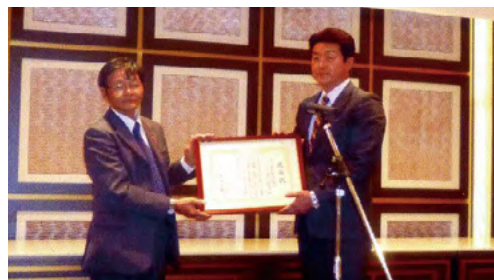
支部組合／組合員ホールによる社会貢献活動

支部組合の通常総会時における各種社会貢献活動

山口

防府市社会福祉協議会に寄付

山口県遊技業協同組合傘下の防府遊技場防犯組合(梁川在彦組合長)は、2018年5月18日(金)に開催した平成30年度通常総会において、防府市社会福祉協議会に寄付を行った。



車施錠キャンペーン「愛錠作戦」ポスター150枚、チラシ5000枚、ワイヤー錠200個、立幟旗4枚、立看板5基を寄贈した。



山形

寄付／寄贈

防犯関係資機材を寄贈

山形県遊技業協同組合山形支部(金村鍾文支部長)は、2018年7月19日(木)、山形地区防犯協会連合会に対し、自転

同県遊協最北支部(増井浩一支部長)は、2018年7月20日(金)、最上地区防犯協会連合会に対し、防犯用の青色回転灯10基を寄贈した。



各県トピックス

大分県遊協が組合員ホールで「子ども車内放置事故防止大会」を開催

大分県遊技業協同組合（力武一郎理事長）は、2018年8月9日（月）、別府市の組合員ホール駐車場で、「第15回子ども車内放置事故防止大会」を開催した。組合員120名と、所轄の別府署生活安全課担当官、別府市消防本部救急・救助担当官が参加した。

当日は、同県遊協力武理事長から、「大分県遊協では、「ホールの駐車場における子どもの痛ましい事故を起こさない」という強い決意のもと、平成16年から毎年、本大会を実施し今年で15回目を迎えました。特に、夏季における車内放置は、重大な結果を及ぼすこととなりますので必ず、1時間に1回を目安に巡回を行い、「子どもの車内放置事故防止の徹底に努めていただきたい。」との挨拶があり、引き続き行われた別府警察署生活安全課長からの挨拶の中で、「のめり込み問題（依存）対策」「児童の車内放置対策」「ホール内での置き引き対策」「遊技機の不正改造やゴト行為の防止対策」等の指導があった。

引き続き、2017年度中の「子ども事故未然防止事業」発生状況の報告、訓練における想定等の説明があり、会場となったホールスタッフ2名による店内アナウンスの実施、同店舗副主任による、

1 ポスターや看板、定期的な店内放送等を通じて、お客様連れのお客様の入場をお断りすることを徹底します。

2 ホールにおいて、駐車場等の巡回指導を徹底し、子どもの車内放置車両の早期発見と、速やかな対応に配慮します。

3 駐車場における車上荒らし、及び、自動車盗難、さらには、店内の置き引きなどの犯罪の未然防止のための活動を行います。

この大会宣言が行われた。

「子どもの車内放置事故防止」訓練では、ホール従業員による駐車場の巡回点検の実技・車内確認方法・窓ガラスの割り方の訓練を行った。続いて、別府市消防本部救急・救助担当官によるAEDの使用要領説明・使用訓練が行われた。



各県トピックス

福岡県遊協傘下組合が警察署長等からの感謝状授与

福岡県遊技業協同組合傘下の飯塚遊技場組合（安藤彰展組合長）は、2018年7月10日（火）、空き巣や自転車盗防止（無締めゼロ作戦）の徹底を呼びかける広報・啓発活動に継続的に協力し、多大な貢献があったとして、飯塚警察署、飯塚地区防犯協会の2団体から感謝状が授与された。

飯塚警察署管内においては、2016年から継続的に無施錠による住居侵入の窃盗（空き巣）や自転車盗事案が多発していることと鑑み、同組合では、新聞の折込チラシ広告、傘下ホール大型ビジョンによる「無施錠ゼロ」のPR等、広報・啓発活動の防犯対策を継続的かつ効果的に実施している。

飯塚警察署管内では、2017年6月末の刑法犯の認知総数が717件であったものが、飯塚遊技場組合の継続的かつ効果的な防犯広報等により、本年6月末現在で、485件、対前年マイナス232件と大幅な減少に寄与している。なかでも、福岡県警察本部の重点的抑止罪種である「空き巣」については対前年マイナス79件と県内警察署トップの減少数となっており、これらの防犯に向けたPR活動の貢献が評価された。

